

【個別技術紹介】結線確認装置

< 特 長 >

- 特高・高圧計器と変成器（VCT）間の配線間違いやねじの締め忘れ、ショートバーの着け忘れ、外し忘れ、電圧相回転（正相/逆相）、潮流方向、計器やVCTの故障を検出します。
 - ◆ 自動判定のため、作業者の確認漏れや見誤りのヒューマンエラーがありません。
 - ◆ 送電前に結線誤りを検出できるため、VCTの焼損（VTの短絡、CTの開放）や配電線事故を防げます。
 - ◆ LED表示で誤結線や故障箇所の絞り込みが出来ます。
- 特高・高圧計器とVCT間の配線が6線でも7線、どちらでも結線確認が可能です。また、1台のVCTに2台の計器が接続されていても結線確認が可能です。
- 人間の特性を考えた製品安全設計を実施しており、安全で簡単に操作できます。
 - ◆ 特高・高圧計器とVCT間の端子（テストスイッチ）にプラグインする構造のため、電氣的に安全な接続が可能。また、インターロック機構により作業者による結線確認装置の誤接続もありません。
 - ◆ 操作は、電源スイッチを入れて、配線が6線か7線かの選択スイッチを操作するだけです。
 - ◆ 持ち運びを考えた軽量設計で、使用時は床置きおよび壁掛けが可能です。

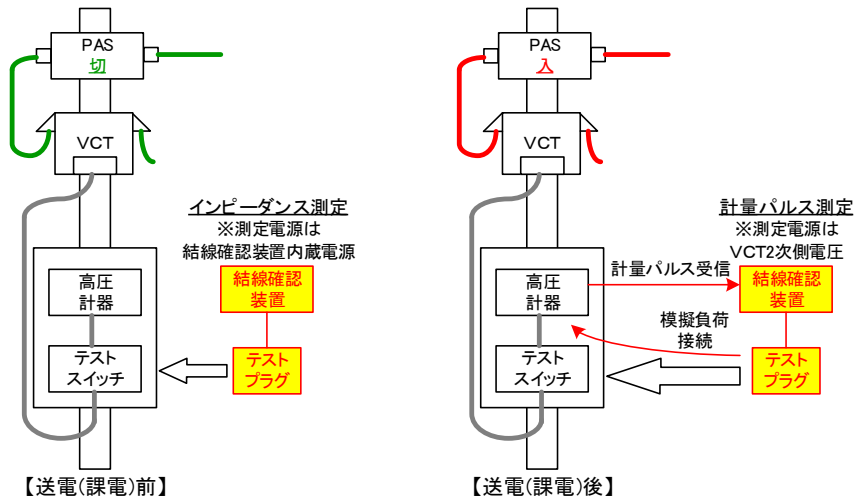
< 機 能 >

I 送電（課電）前確認機能

- インピーダンスの測定結果から、結線の良否を判定しLEDで表示します。

II 送電（課電）後確認機能

- 電圧相回転、潮流方向、模擬負荷による計器の計量値を判定しLEDで表示します。



< 適 用 例 >

- 特高・高圧計器の新設・容変・組取替工事での結線確認。

< 効 果 >

- 2014年から当社の計器工事で使用し、結線ミスによる事故はありません。
- 判定結果によるVCT内の接触不良箇所発見の実績があります。

< 特 許 他 >

- 特許出願公開番号： 特開 2020-12672
- 第 65 回 澁澤賞受賞